

科目名	バッグ実習 I -A	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン	期	通年
コース	バッグ		昼間
学年	1		講義 20% 実習 80%
時間数	240	作成者	片山知佳

【科目の到達目標】

バッグ制作の技術を修得、また皮革による雑貨制作を通し、幅広く素材の知識を深め、様々なバッグデザインに対応できる基礎的能力を身につける。

【科目の概要】

包丁、ミシン、漉き機等の道具、機械類の使い方、バッグの基本的な構造と型紙の作成、縫製の方法を習得する。基本的なバッグの制作方法を理解し、習得する。

【授業計画】

90分1コマ		前期	後期
1・2・3・4	オリエンテーション		基礎課題3(横マチ縫い返し)
	包丁講習・ミシン、道具説明	61・62・63・64	型紙の作り方
5・6・7・8	基礎練習 1	65・66・67・68	裁断・漉き
	(型紙を写して裁断、縫製)		
9・10・11・12	基礎練習 2 ポケット、持ち手	69・70・71・72	縫製・組立
	(型紙を写して裁断、縫製)		
13・14・15・16	基礎練習 3 裏地	73・74・75・76	基礎課題3(外縫い基本)
	(型紙を写して裁断、縫製)		型紙
17・18・19・20	基礎練習 4 裏地	77・78・79・80	裁断・漉き
	(型紙を写して裁断、縫製)		
21・22・23・24	基礎課題1(横マチトート)	81・82・83・84	裏地・ポケット制作
	型紙の作り方		
25・26・27・28	裁断・漉き	85・86・87・88	縫製・仕上げ
29・30・31・32	縫製・組立	89・90・91・92	基礎課題3(外縫い応用)
			型紙
33・34・35・36	縫製・組立	93・94・95・96	裁断・漉き
37・38・39・40	裁断・漉き	97・98・99・100	裏地・ポケット制作
41・42・43・44	基礎課題2(通しマチ縫い返し)	101・102・103・104	縫製・仕上げ
	型紙の作り方		
45・46・47・48	裁断・漉き	105・106・107・108	自由課題
			型紙
49・50・51・52	縫製・組立	109・110・111・112	裁断・漉き
53・54・55・56	縫製・組立	113・114・115・116	裏地・ポケット制作
57・58・59・60	縫製・組立	117・118・119・120	縫製・仕上げ
	テスト		

【成績評価方法】

課題作品60%、修了テスト20%、平常点20%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

縫製用具一式、製図用具一式、指定のはさみ、ピンセット、ライター、刷毛

【実務経験の内容】

バッグメーカーで生産・企画に携わった後、独立してバッグを企画・製造している経験を活かし、バッグの製作実習を指導する。

科目名	バッグ実習 I -B	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	通年
コース	バッグコース		昼間
学年	1年		講義 20% 実習 80%
時間数	120	作成者	杉山佳美

【科目の到達目標】

バッグ制作の技術を習得、また皮革による雑貨制作を通し、幅広く素材の知識を深め、様々なバッグデザインに対応できる基礎的能力を身につける。

【科目の概要】

基礎的なトートバッグから学び、基礎と応用を繰り返すことで専門的なバッグの技術を習得する。市場のトレンド分析、販売用作品制作、仕様書作成についても学び、バッグの流通に関して全体的な学びを修得する。

【授業計画】

90分1コマ		前期	後期
1・2	オリエンテーション		31・32 リュック 裁断
3・4	道具入れ制作 型紙 裁断・漉き		33・34 裏地:ポケット制作
5・6	縫製		35・36 縫製:ファスナー付け
7・8	縫製		37・38 ショルダーベルト
9・10	仕上げ		39・40 縫製:前胴 天マチ セット
11・12	校外授業(バッグ材料屋巡り)		41・42 縫製:底・背胴 セット
13・14	落とし込みバッグ・型紙		43・44 HEP FIVE 商品製作
15・16	型紙		45・46 サンプル作成
17・18	裁断・漉き		47・48 製作 サンプルチェック
19・20	縫製		49・50 製作
21・22	縫製		51・52 製作
23・24	仕上げ		53・54 製作
25・26	リュック 型紙		55・56 製作
27・28	校外学習(革・金具屋)		57・58 製作・プレゼンテーション
29・30	リュック 型紙		59・60 テスト

【成績評価方法】

提出物の評価60% 期末テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

縫製用具一式、製図用具一式、指定のはさみ、ピンセット、ライター、刷毛

科目名	染色 I	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	前期
コース	バッグコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 10 % 実習 90 %
時間数	28	作成者	長田 綾美

【科目の到達目標】

染色技法基礎の修得。デザインの感性を高め作業を計画的に進めて行く能力を養う。
染料と繊維の関係を学ぶ。
色彩感覚を養い染色のおもしろさを知る。

【科目の概要】

アナログ的な手作りを基本とした制作実習。シルクスクリーン、絞り染めなどの技法を使ってトートバッグ、生地素材などを染めながら染色技法を修得していきます。

【授業計画】90分/コマ

- 1・2 絞り染め。浸染め。 参考プリントから色々な技法を修得。
- 3・4 絞り染め。浸染め。 参考プリントから色々な技法を修得。
- 5・6 板締め。板の挟み方によって異なるデザインの違いや表情のおもしろさを学習する。
- 7・8 板締め。板の挟み方によって異なるデザインの違いや表情のおもしろさを学習する。
- 9・10 シルクスクリーン。 幾何学模様によるデザイン原稿を制作する。
- 11・12 シルクスクリーン。 幾何学模様によるデザイン原稿の製版を行う。
- 13・14 シルクスクリーン。 トートバックやTシャツにオリジナルデザインをプリントする。

【成績評価方法】

提出課題の評価 60% 期末試験 60% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

『染色の基礎知識』 染織と生活社発行

【教材・教具】

各種染料。 刷毛、筆、伸子、張り木、ステンレスタンク、蒸し器等の染色用具。
ガスコンロ、水洗場等の設備。 シルクスクリーン感光器
ガスコンロ、水洗場等の設備。 シルクスクリーン感光器

科目名	北欧刺繍	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	後期
コース	バッグコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	28	作成者	廣岡均子

【科目の到達目標】

手仕事の重要性を理解し、手芸の出来る人材を目指す。

刺繍、手芸の基礎技術習得

【科目の概要】

機械の発達により、縫製技術は発展しているが、機械には成り代われない、手仕事の大切さ、個人の感性、物を作る楽しさを手芸を通して学ぶ。

基礎ステッチ(ドロンワーク、ミラーワーク、ハーダンガ刺繍、クロスステッチ、テープ刺繍)

【授業計画】 90分/コマ

- 1・2 布、糸、はさみ(布30cm×30cm)
基礎ステッチの説明
(ドロンワークフリンジの刺し方)
- 3・4 ミラーワーク、糸、針、歴史の説明
ミラーワーク、刺し始め
- 5・6 テープ刺繍説明
テープのはり方
テープの利用、作品の説明
フリーステッチの説明
(刺繍糸の使い方)
- 7・8 作品の糸始末
- 9・10 ハーダンガ刺繍「歴史民族衣装」
インテリア(テーブルセンターなど)
作品の説明
- 11・12 クロスステッチ説明
図案の仕上がり
寸法の計算方法
参考作品の本を見せて説明
- 13・14 全体のまとめ
期末試験 まとめ

【成績評価方法】

提出課題の評価60% 期末試験30% 授業態度10%

各技法の習得力

色彩感覚

【教科書・参考書】

『RAKAM』(伊)2015年、『NEW STITCHES』(英)出版社クリエイティブ・クラフツ・パブリッシング・リミテッド
基礎プリント配布、『刺しゅう』雄鶏社 平成6年度、北欧雑誌、私物の本毎回持参

【教材・教具】

刺繍針、はさみ、ものさし、待針、しつけ糸、刺繍糸

科目名	ベーシック	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	通年
コース	バッグコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	60	作成者	中川健

【科目の到達目標】

専攻分野でイメージを実現化するうえでの基礎的な表現技術の習得を目指す。

【科目の概要】

・色彩構成の基礎 ・立体構成の基礎 ・描画技術の基礎を学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ	前期		後期
1	色彩構成① ガイダンス&調色	16	立体構成①ガイダンス&山折り谷折り①
2	色彩構成② 調色と配色①	17	立体構成②山折り谷折り②
3	色彩構成③ 調色と配色②	18	立体構成③六角柱①
4	色彩構成④ 明度による配色①	19	立体構成④六角柱②
5	色彩構成⑤ 明度による配色2	20	立体構成⑤レリーフ①
6	色彩構成⑥ イメージ配色①	21	立体構成⑥レリーフ②
7	色彩構成⑦ イメージ配色②	22	立体構成⑦レリーフ③
8	色彩構成⑧ イメージ配色③	23	コンセプトブック① ガイダンス&インタビュー
9	色彩構成⑨ イメージ配色	24	コンセプトブック② ブランドコンセプト立案
10	デザイン画ヌードボディ①	25	コンセプトブック③ ブック制作
11	絵の具の扱い・グラデーション	26	コンセプトブック④ ブック制作
12	デザイン画ヌードボディ②着彩	27	クロッキー①
13	ボディへの着彩	28	クロッキー②
14	デザイン画着彩	29	ヌードクロッキー(後期試験)
15	前期試験	30	コンセプトブック⑤ プレゼンテーション

【成績評価方法】

課題60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

『デザインの色彩』中田満雄 北畠耀 細野志尚 監修 財団法人日本色彩研究所 日本色研事業株式会社 2版

【教材・教具】

筆記具 鉛筆 絵具セット カッターナイフ 30cm定規 コンパス B4ケント紙 クロッキー帳

【教材・教具】

縫製用具一式、製図用具一式、指定のはさみ、ピンセット、ライター、刷毛

科目名	ファッションデザイン論	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	通年
コース	バッグコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 60 % 実習 40 %
時間数	60	作成者	野田 光晴

【科目の到達目標】

ファッションデザインを考えると、過去の衣服の変遷や民族による衣服の違いを知ることは必須である。本科目ではこれらについての知識を修得し、「自分で調べ、考え、まとめる」ことを通してオリジナルデザインを制作するための基礎を養成することを目標とする。

【科目の概要】

ファッションデザインの変遷と、民族・習慣等による衣服のデザインについて理解を深めるための講義と演習
現在、流通している衣服や歴史上の衣服のファッションデザインを整理・理解し、オリジナルデザイン画を制作する。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	「ファッションデザインのもと1」 エレガントとスポーティ(1)	16	「コートのデザイン1」
2	エレガントとスポーティ(2)	17	「コートのデザイン2」
3	「ファッションデザインのもと2」 モダンとフォークロア(1)	18	「コートのデザイン3」
4	モダンとフォークロア(2)	19	「パンツのデザイン1」
5	「シャツ・ブラウスのデザイン1」	20	「パンツのデザイン2」
6	「シャツ・ブラウスのデザイン2」	21	「パンツのデザイン3」
7	「スカートのデザイン1」	22	「ジャンパーのデザイン1」
8	「スカートのデザイン2」	23	「ジャンパーのデザイン2」
9	素材の知識①:平織と綾織の組成	24	「ジャンパーのデザイン3」
10	素材の知識②:天然繊維と化学繊維	25	アクセサリ 帽子のデザイン
11	素材の知識③:天然繊維と化学繊維	26	「フットウェアのデザイン」
12	「ワンピースドレスのデザイン1」	27	「バッグのデザイン」
13	「ワンピースドレスのデザイン1」	28	「トータル・コーディネート1」
14	「ジャケットのデザイン1」	29	「トータル・コーディネート2」
15	「ジャケットのデザイン2」	30	「トータル・コーディネート3」

【成績評価方法】

課題評価点60%、期末試験30%、平常点10%を100点満点で評価する。

【教科書・参考書】

高村是州『スタイリング・ブック』グラフィック社、文化出版局『ファッション辞典』
WWDジャパン『WWD』

【教材・教具】

筆記用具、のり、はさみ、A4判ノート、コピックスマルチライナー、コピックススケッチ、ガッシュ着彩の用意

科目名	コンピュータ演習 I	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	通年
コース	バッグコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	90	作成者	佐山 孝典
【科目の到達目標】 ファッション業界においてデザイン、企画書作成に必要なPC操作とソフトウェアを活用できるスキルを習得する。			
【科目の概要】 Googleクロームを使った各種設定とアプリの操作方法。 PCを使って企画書や商品デザイン書類等を作成する。			
【授業計画】 90分/コマ	前期	後期	
1	メールアカウント設定と課題提出方法 Googleクラスルーム 自己紹介シート	16,17	シューズ、バッグ、雑貨アイテムの描画1 (Illustrator Photoshopの応用)
2	グーグルクロームとクラウド Googleアプリの解説	18,19	シューズ、バッグ、雑貨アイテムの描画2
3	描画基礎1 (Illustrator) ペンツール	20,21	シューズ、バッグ、雑貨アイテムの描画3
4	描画基礎2 (Illustrator) レイヤーと作画	22,23	シューズ、バッグ、雑貨アイテムの描画4
5	描画基礎3 (Illustrator) 着色と柄	24,25	シューズ、バッグ、雑貨アイテムの描画5
6	画像加工基礎1 (Photoshop) 切抜き、着色	26,27	商品企画書1 (Illustrator Photoshop Excelの応用)
7	画像加工基礎2 (Photoshop) サイズ、解像度	28,29	商品企画書2
8	画像加工基礎3 (Photoshop) レイヤー、合成	30,31	商品企画書3
9	コンテスト作品デザイン画1	32,33	商品企画書4
10	コンテスト作品デザイン画2	34,35	商品企画書5
11	コンテスト作品デザイン画3	36,37	ポートフォリオ制作1
12	Word基礎 タイピング 文書作成	38,39	ポートフォリオ制作2
13	Excel基礎 表計算 関数	40,41	ポートフォリオ制作3
14	パワーポイント基礎 プレゼンテーションシート作成	42,43	課題 まとめ
15	まとめ テスト アイテムイラスト描画 画像加工	44,45	テスト
【成績評価方法】 提出物評価60% テスト30% 授業態度10%			
【教科書・参考書】 参考資料等はPDF、プリントを配布			
【教材・教具】 筆記用具 USBなどフラッシュメモリ			

科目名	英会話 I	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	通年
コース	バッグコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 30% 実習 70%
時間数	60	作成者	小川 彩美

【科目の到達目標】

二年次末のイタリア技術研修に向けて、現地での授業において、積極的にコミュニケーションを取るために英語を習得する。

【科目の概要】

フ海外の人と臆することなく話せるように、ペアワークを中心に会話練習を行う。
プレゼンテーションを入れ、人前で自分の思っていることを英語で話す練習をする。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	自己紹介		16 前期の復習
2	文章の作り方(主語+動詞)		17 自分の意見(I think)
3	日常生活でよく使う単語		18 過去形
4	Yes/No で答えられる質問文		19 不定詞
5	現在進行形		20 動名詞
6	人称代名詞		21 未来形
7	助動詞canの使い方		22 比較級
8	現在形		23 最上級
9	WH疑問文		24 接続詞
10	前置詞		25 道案内
11	自分のしたいこと(want to)		26 自分以外の人のことについて話す
12	したい"want to"/ したくない"don't want to"		27 助動詞
13	プレゼンテーション		28 プレゼンテーション
14	前期の総まとめ		29 前期の総まとめ
15	期末試験		30 期末試験

【成績評価方法】

課題作品評価60%、期末試験・小テスト30%、平常点10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

科目名	商品製作	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	通年
コース	バッグコース		昼間
学年	1年		講義 20% 実習 80%
時間数	60	作成者	杉山佳美

【科目の到達目標】

皮革小物のパターン、縫製技術を習得する。
体系的にファッション雑貨を捉えデザイン・制作の幅を広げる。

【科目の概要】

販売イベントを目標に、皮革を中心とした素材で
基礎的なトートバッグから学び、バッグ・ポーチやヘアアクセサリ、等縫製技術を必要とする作品を製作する。

【授業計画】

90分1コマ		前期	後期
1	オリエンテーション		16 上安祭商品製作 タグ付け パッケージ
2	ミニポーチ		17 たつの祭り商品製作
3	↓		18 HEP FIVE 説明会 たつの祭り商品製作
4	メガネケース 裁断		19 たつの祭り商品製作
5	↓ 裏地裁断 接着		20 価格決定
6	↓ 縫製		21 たつの祭り商品製作
7	↓ 削り・磨き 仕上げ		22 HEP FIVE 商品製作
8	サコッシュバッグ パターン・裁断		23 HEP FIVE 商品製作
9	↓ ファスナー付け・縫製		24 HEP FIVE 商品製作
10	↓ ポケット付け		25 HEP FIVE 商品製作
11	↓ ショルダーベルト付け		26 HEP FIVE 商品製作
12	上安祭商品製作 革小物練習		27 講義:商品タグ・品質表示
13	上安祭商品製作 革小物練習		28 HEP FIVE 商品製作
14	上安祭商品製作 革小物練習		29 HEP FIVE 商品製作
15	上安祭商品製作 革小物練習		30 テスト

【成績評価方法】

提出物の評価 60% 期末テスト30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

縫製用具一式、製図用具一式、指定のはさみ、ピンセット、ライター、刷毛

科目名	バッグドローイング	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	通年
コース	バッグコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 20% 実習 80%
時間数	60	作成者	中川 健

【科目の到達目標】

企画、デザインに必要なイラスト、デザイン画が描画できる。

【科目の概要】

専攻アイテムであるシューズの描画・着彩技法を習得する。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	オリエンテーション・描画基礎① 線		16 人物クロッキー①:ガイダンス
2	描画基礎② 平面・立体		17 人物クロッキー②
3	アイテムスケッチ① プロポーション		18 人物クロッキー③:人体パーツ描写
4	アイテムスケッチ②		19 着用デザイン画①
5	アイテムスケッチ③ 遠近法		20 着用デザイン画②
6	アイテムスケッチ④		21 素材描き分け:マット素材
7	ディテール表現①		22 素材描き分け:光沢素材
8	ディテール表現②		23 素材描き分け:テクスチャー表現
9	デザイン画制作(A5)①		24 デザイン画 生地表現①
10	デザイン画制作(A5)②		25 デザイン画 生地表現②
11	デザイン画制作(A5)③		26 オリジナルデザイン画①
12	オリジナルデザイン画①		27 オリジナルデザイン画②
13	オリジナルデザイン画②		28 オリジナルスタイル画①
14	オリジナルデザイン画③		29 オリジナルスタイル画②
15	前期試験(筆記・実技)		30 後期試験(実技)

【成績評価方法】

課題評価 60%

試験 30%

授業態度 10%

【教科書・参考書】

ファッション雑誌、資料etc

【教材・教具】

筆記用具(鉛筆、消しゴム)、彩色用具一式、クロッキー帳、色鉛筆、ケント紙、30cm定規

科目名	ビジネスマナー	整理番号	
学科	ファッションクラフトデザイン学科	期	前期
コース	バッグコース		昼間
学年	1年	授業形態	講義 70% 実習 30%
時間数	30	作成者	衣笠節子

【科目の到達目標】

- ・ビジネスマナーを習得し、社会人として必要なコミュニケーション能力とサービスマインドについて学習する。
- ・企業が求めている即戦力および人間力を身につけ、就職活動に役立てる。
- ・人と円滑な交流を行い接客業務にも生かすことができる。

【科目の概要】

- ・ビジネス社会では、業務についての知識だけでなく礼儀やコミュニケーション能力が求められている。本科目では人前で話す訓練をし、思っていることを相手に伝える言葉の表現力を習得する。
- ・接遇マナーが重視されている中、知識だけでなく実践できるようになる。

【授業計画】 90分/コマ

- 1 マナーの重要性 「関係づくりの第一歩」
- 2 社会人としての常識 「マナー度チェック」
- 3 第一印象をアップする 「身だしなみと立ち居振る舞い」
- 4 言葉遣いのマナー 「敬語の種類・対応の基本用語」
- 5 外部の方へのアプローチ 「電話対応とメールのマナー」
- 6 グループワーク 「美点凝視」
- 7 ビジネス実務 「名刺交換のマナー・訪問のマナー」
- 8 ビジネス実務 「応接室でのルール・乗り物のマナー」
- 9 ビジネス実務 「指示の受け方と報告の仕方」
- 10 ビジネス実務 「慶事と弔事のマナー」
- 11 仕事の上で必要とされる表現技術 「プレゼンテーション」
- 12 ビジネス文書のマナー 「社内文書・社外文書」
- 13 就職面接対策 「面接室での流れと定番質問」
- 14 まとめ 「修業テスト」
- 15 コミュニケーションスキル 「会話を広げるアプローチ話法」

【成績評価方法】

- ・提出課題・スピーチの評価60%・理解力(修業テスト)30%・授業態度10%
- 以上を指導要項に基づいて総合的に評価する。

【教科書・参考書】

田野直美『ビジネスでの常識集』トータルマナー株式会社 最新版

【教材・教具】